

船舶事故調査報告書

平成22年6月17日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）
委員 山本 哲 也
委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年12月5日 17時00分ごろ、本船が帰港しないことから、海上保安部に通報された。）
発生場所	不明（北海道島牧村千走漁港港口沖の防波堤付近（概位 北緯42°41.3′ 東経140°00.1′）で、本船が最後に目撃された。）
事故調査の経過	平成21年12月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第177磯丸、0.64トン HK3-102458（漁船登録番号）、個人所有 6.65m(Lr)×1.13m×0.39m、FRP 船外機、30kW、昭和52年6月20日
乗組員等に関する情報	船長 男性 80歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年5月23日 免許証交付日 平成21年10月9日 (平成27年4月11日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	不明（本船は発見されていない。）
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成21年12月5日08時40分ごろ、千走漁港を出航し、同漁港港口沖の防波堤付近であわび漁を行っていた。 地元漁業協同組合は、本船が夕刻になっても帰港しなかったため、17時00分ごろ、海上保安部に通報した。 海上保安庁の巡視船、航空機及び僚船による捜索が行われ、船長は、平成21年12月22日、千走漁港の北北東方約41海里のところ存在する生け簀で発見され、死亡が確認された。 船長の死因は、溺水と検案された。 本船は、発見されないまま捜索が打ち切られた。
気象・海象	気象：本船が操業していた場所の南南西約29kmに位置するせたな地域気象観測所の事故当日の観測値は、次のとおりであった。 (09時) 天気 曇り、風向 東南東、平均風速 5.5m/s、最大瞬間風速 9.8m/s (10時) 天気 曇り、風向 東、平均風速 6.8m/s、最大瞬間

	<p>風速 11.3m/s (11時) 天気 曇り、風向 東南東、平均風速 6.2m/s、最大瞬間風速 11.5m/s (12時) 天気 曇り、風向 東南東、平均風速 5.6m/s、最大瞬間風速 10.9m/s</p> <p>海象：千走漁港沖の海水温度は、約11～12℃であった。 特記事項：札幌管区气象台は、12月5日07時16分に千走漁港が位置する後志西部に対して強風波浪注意報を発表していた。</p>								
<p>その他の事項</p>	<p>本船が行っていたあわび漁は、船上からのぞき眼鏡を使用して海底のあわびを探し、タモ及びカギと呼ばれる棒状の漁具を用いて採取するものであった。</p> <p>地元漁業協同組合は、あわび漁の作業時間帯を08時から12時までの間と取り決めていた。</p> <p>事故当日、地元漁業協同組合は、天候が悪化するとの予報が発表されていたので、沖合の気象及び海象状況を確認したのち、08時40分からあわび漁の作業を開始すると決めた。作業開始時、千走漁港周辺の気象及び海象は穏やかであったが、10時00分ごろから雪混じりの雨となり、強い南東風が吹き始めて高波が発生する状況となった。</p> <p>船長は、出航するところを、また、千走漁港港口沖の防波堤付近で作業しているところを僚船に目撃されていたが、救命胴衣を着用していなかった。</p>								
<p>分析</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="520 1048 815 1093">乗組員等の関与</td> <td data-bbox="815 1048 1452 1093">不明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="520 1093 815 1137">船体・機関等の関与</td> <td data-bbox="815 1093 1452 1137">不明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="520 1137 815 1182">気象・海象の関与</td> <td data-bbox="815 1137 1452 1182">不明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="520 1182 815 1467">判明した事項の解析</td> <td data-bbox="815 1182 1452 1467"> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>船長は、千走漁港港口沖において、救命胴衣を着用せずに1人で作業していたものと考えられる。</p> <p>船長は落水したものと考えられるが、目撃者がいないため、その状況を明らかにすることはできなかった。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	不明	船体・機関等の関与	不明	気象・海象の関与	不明	判明した事項の解析	<p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>船長は、千走漁港港口沖において、救命胴衣を着用せずに1人で作業していたものと考えられる。</p> <p>船長は落水したものと考えられるが、目撃者がいないため、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
乗組員等の関与	不明								
船体・機関等の関与	不明								
気象・海象の関与	不明								
判明した事項の解析	<p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>船長は、千走漁港港口沖において、救命胴衣を着用せずに1人で作業していたものと考えられる。</p> <p>船長は落水したものと考えられるが、目撃者がいないため、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>								
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が千走漁港港口沖において、1人で乗り組んでいた船長が落水したことにより発生したものと考えられるが、その原因を明らかにすることはできなかった。</p>								